




アルミ付紙パック（LL紙パック）に関するよくある質問

● アルミ付紙パックの特性について

Q1	アルミ付紙パックは、牛乳パックなど普通の紙パックと何が違うのですか？
A1	<p>内側にアルミが貼ってあるので、光や酸素の透過を抑えることができます。無菌の状態、無菌の内容物を無菌の紙パックに充填することにより、冷蔵庫に入れなくても内容物の品質を長期間保持することができます。</p> <p>常温保存できるため冷蔵のためのエネルギーが節約できるとともに、賞味期間（期限）が長くなるため食品廃棄物の削減にもつながります。</p> <p>ただし、一部の商品ではアルミ付紙パックであっても「要冷蔵」のものがありますので、紙パックに記載されている表示に注意してください。</p>

Q2	アルミ付紙パックとアルミなし紙パックの見分け方はありますか？
A2	<p>リサイクルのマークを見れば、紙パックを開かずにアルミなしとアルミ付を見分けることができます。アルミなし紙パックには「紙パックマーク」が表示されており、牛乳パックと一緒にリサイクルに出すことができます。一方、アルミ付紙パックには「紙マーク」が表示されており、牛乳パックと一緒に出せない市区町村や小売店が多いのが現状です。詳しくはお住まいの市区町村やお近くの小売店にお問い合わせください。アルミ付紙パックを回収している小売店等については回収拠点検索サイトでも検索できます（下記 URL または QR コード参照）。</p> <p>http://www.eco-kami.jp/alupa/recycle/search.html</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div style="text-align: center;"><p>紙パックマーク 飲料、酒類用紙パックでアルミ不使用のものを対象に表示されます。</p></div><div style="text-align: center;"><p>紙マーク アルミ付紙パックのほかに、例えば菓子箱等を対象に表示されることもあります。ただし、回収場所が紙パックとそれ以外で異なる場合があります。</p></div></div> 

Q3	酒パックの中には、アルミ付とアルミなしのものがありますが、どのような違いがありますか？
A3	<p>アルミなし酒パックは牛乳パックなどと同様にリサイクルに出すことができますが（ただし、キャップの取り扱いについては市区町村により異なる場合がありますので注意してください）、アルミ付はリサイクルに出せるところが限られています。</p> <p>中身の品質を長期間保持する点では、アルミ付酒パックとアルミなし酒パックは同様です。</p>

● アルミ付紙パックの回収について

Q4	回収拠点サイトで紹介されているスーパーに行っても、アルミ付紙パックを回収しているBOXが見つかりません。
A4	<p>アルミ付紙パックの回収を行っているスーパー等では、多くの場合、アルミ付紙パックのみを回収している専用の回収ボックスがあるわけではなく、アルミなしとアルミ付の両方を同じ回収ボックスと一緒に回収しています。目印として、回収ボックスに「アルミ付紙パックも回収できます」などの表記があります。</p> <p>また、一部の店舗では、酒パックやアルミ付紙パックの専用ボックスを置いて回収しているところもあります。</p>

Q5	市区町村では、アルミ付紙パックはどのように回収されていますか？
A5	<p>市区町村によって回収の仕方は様々です。アルミ付紙パック単独で回収している市区町村、アルミ付とアルミなしと一緒に回収している市区町村、「紙製容器包装」の区分で回収している市区町村のほか、「難再生古紙」として回収している市区町村もあります。アルミ付紙パックをリサイクルできる工場が近くにないなどの理由で、可燃ごみとして処理している市区町村もあります。詳しくはお住いの市区町村に確認してください。</p>

Q6	アルミ付紙パックの回収が普及していないのはどうしてですか？
A6	<p>アルミ付紙パックをリサイクルするにあたっては、紙繊維とポリエチレン、アルミを分離しなければならず、それに対応した装置が必要です。しかしながら、必ずしもすべての製紙メーカーの工場がこのような装置を備えているわけではありません。そのため、アルミ付紙パックのリサイクルが普及していないのが現状です。</p>

Q7	洗って開いて乾かす必要がありますか？
A7	<p>飲み終わった後のそのままの状態では悪臭などの原因になりますので、紙パックを洗ってください。洗い残しの確認をしたり、かさばらなくしたりするため、紙パックを開いてください。また、カビが生えてリサイクルできなくなることを防止するため、洗った後の紙パックを乾かしてください。</p>

Q8	プラスチックのキャップや注ぎ口を外す必要はありますか？
A8	<p>再生紙工場の設備を傷めることがありますので、キャップは外してください。注ぎ口については、市区町村の資源ごみに出す際は、お住まいの市区町村のルールに従ってください。また、スーパーや生協などでリサイクルに出す際は、回収ボックスやチラシなどに書かれた注意事項に従ってください。</p>

● アルミ付紙パックのリサイクルについて

Q9	アルミ付紙パックはどのようなものにもリサイクルされていますか？
A9	<p>日常生活の中で最も身近な製品として、トイレトペーパーやティシュペーパーが挙げられます。ただし、アルミ付紙パックのみを原料として使用しているわけではなく、アルミなしの紙パックや、オフィスから回収された古紙などと混ぜてリサイクルされています。</p> <p>そのほか「固形燃料ごみ」として回収され、固形燃料にリサイクルされるケースもあります。</p>

Q10	分離されたアルミとポリエチレンはどのように処理されるのですか？
A10	<p>分離されたアルミとポリエチレンは固形燃料にリサイクルされるケースや、工場内のボイラーの燃料として利用されるケースがあります。また、最近ではアルミを取り出して特殊溶液との化学反応により水素を発生させ、燃料電池で電気エネルギーに変換する技術も開発されています。</p>

Q11	アルミが貼ってあってもリサイクルできるのですか？
A11	<p>紙繊維とポリエチレン、アルミを分離する設備が整った工場であれば、アルミ付紙パックもリサイクル可能です。ただし、そうした設備のある工場は限られているのが現状です。</p>